

表4 薬物相互作用で問題となるシトクロムP450(CYP)の分子種と代表的な基質薬物、阻害薬物、誘導薬物

CYP分子種	基質薬物	阻害薬物	誘導薬物	代謝を受ける抗がん剤
CYP1A2	チザニジン、ラメルテオン、デュロキセチン塩酸塩	フルボキサミンマレイン酸塩、シプロフロキサシン、メキシレチン塩酸塩		ダカルバジン(CYP1A1, 2E1でも代謝を受ける)、アナグレリド塩酸塩水和物、ボルテゾミブ、イキサゾミブクエン酸エステル、ポマリドミド
CYP2B6 CYP2C8				シクロホスファミド水和物、イキサゾミブクエン酸エステル ニロチニブ塩酸塩水和物
CYP2C9	ワルファリンカリウム、フェニトイン グリメピリド、グリベンクラミド、ナテグリニド、ジクロ フェナクナトリウム、セレコキシブ、フルバスタチン	アゾール系抗真菌薬(ポリコナゾール、ミコナゾール、フルコナゾール)、チクロピジン塩酸塩、アミオダロン塩酸塩、ブコローム	リファンピシン	イマチニブメシル酸塩、ルキシロチニブリン酸塩
CYP2C19	ポリコナゾール、オメプラゾール、ランソプラゾール、クロピドグレル	フルボキサミンマレイン酸塩、アゾール系抗真菌薬(ポリコナゾール、フルコナゾール)	リファンピシン	ボルテゾミブ、サリドマイド
CYP2D6	デキストロメトルファン臭化水素酸塩、ノルトリプチリン塩酸塩、マプロチリン塩酸塩、メプロロール酒石酸塩、アトモキセチン、トルテロジン	パロキセチン、テルビナフィン、シナカルセット塩酸塩、ミラベグロン、デュロキセチン塩酸塩		イマチニブメシル酸塩
CYP3A	ベンゾジアゼピン系(トリアゾラム、アルプラゾラム等)、スボレキサント、スタチン系(シンバスタチン、アトルバスタチン)、カルシウム拮抗薬(アムロジピンベシル酸塩、フェロジピン アゼルニジピン ニフェジピン等)、リパーロキサバン チカグレロル エプレレノン	アゾール系抗真菌薬(イトラコナゾール、ポリコナゾール、ミコナゾール、フルコナゾール)、マクロライド系(エリスロマイシン、クラリスロマイシン)、Ca拮抗薬(ジルチアゼム塩酸塩、ベラパミル塩酸塩)、グレープフルーツジュース	リファンピシン、リファブチン、フェノバルビタール、フェニトイン、カルバマゼピン、セントジョーンズワート	ビンクリスチン硫酸塩、ベネトクラクス、イマチニブメシル酸塩、ポナチニブ塩酸塩、イブルチニブ、ロミデプシン
CYP3A4	デキサメタゾン等ステロイド、	マクロライド系(エリスロマイシン、クラリスロマイシン)、アゾール系抗真菌薬(イトラコナゾール、ポリコナゾール)		イホスファミド、エトポシド、ゲムツマブオゾガマイシン、ブレンツキシマブベドチン、イマチニブメシル酸塩、ニロチニブ塩酸塩水和物、ダサチニブ水和物、ボスチニブ水和物、ギルテリチニブフマル酸塩、ボルテゾミブ、イキサゾミブクエン酸エステル、ルキシロチニブリン酸塩、パノビノスタット乳酸塩、ポマリドミド